

平成30年度 P P D C Aサイクル表

台帳番号 平成30年度 23 番 当初起案日 平成30年10月4日所 管 議会活性化特別委員会 担当者 職・氏名 主事 東 藤 一 也

サイクル	年 月 日	内 容 等
計画 Plan	30.10.4	正副委員長と協議し、次のとおり行政視察の計画を決定 誰が：議会活性化特別委員会が いつ：平成31年1月28日（月）、29日（火）に どこで：議会活性化の先進地に 何を：議会だよりの編集や議会報告会の取り組み等についてを なぜ（何のために）：前委員会の申し送り事項に「さらなる議会だよりの充実化を図ること」「議会報告会について、改善・改良を加えながら、よりよい議会報告会となるよう検討を重ねる。」等についての項目があり、先進地でそれら取り組みの具体的な内容を聞き、今後の参考とするために どうする：視察する
手順・ 経過 Process	30.10.4 30.10.11 ～30.12.4 30.12.28 31.1.10	正副委員長と視察内容、視察先について協議し、概要を決定。 委員会終了後、視察内容、視察先を決定、日程調整。 相手方へ連絡（内諾）。 相手方へ依頼文を送付。 委員会を開催し、視察先・内容を報告。
実行 Do	31.1.28 31.1.29	視察（委員7人、議長、事務局2人） 兵庫県丹波市議会（議会だより、議会報告会） 兵庫県宍粟市議会（監視する議会の取り組み、議会報告会）
検証 Check	31.2.14	委員会を開催し、視察結果を検証。 〔委員からの主な意見〕 ①丹波市議会について ア 議会だよりについて ・事務局の編集力の高さを感じた。 ・インデックスは良い。 ・読者のターゲット層を絞る発想は今までなかったので、見習うべき

<p>検証 Check (続き)</p>		<p>だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読モ会議は面白い企画だ。 ・アプリで議会だよりを見ることができる仕組みは導入すべきだ。 ・市民がよく出ており、見たくなる紙面づくりとなっている。 ・異動などもあるので、職員個人に頼るのではなく、業者に上手く伝達することが大事だと考える。 <p>イ 議会報告会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストイットを使ったワークショップはよい。 <p>②宍粟市議会について</p> <p>ア 議会報告会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討論については、言う人、言わない人の偏りがなくなるかもしれない。 ・宍粟市では、参加者が少ない会場もあった。ワークショップ形式でするとしたら、そうならないように工夫しなければならない。 <p>イ 監視する議会の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議決に付さない重要計画への意見反映を行う仕組みづくりは、参考となった。 ・いい取り組みだが、執行部との意見調整など慎重な議論が必要。今任期中にやるか、やらないかの方向性を考えればよいのでは。
<p>改善 Action</p>	<p>30.2.14</p>	<p>視察結果を踏まえ、委員会で以下の点を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりについては、広報部会で参考にすべき点などの協議を進めることとする。 ・今後、議会報告会のワークショップ形式による意見交換を検討する。